

I S S N - 1340 - 7368

(社)日本雪氷学会北海道支部機関誌

北海道の雪氷

第23号



2004年 9 月

発行 (社)日本雪氷学会北海道支部

目 次

巻頭言.....	1
2004 年度日本雪氷学会北海道支部研究発表会発表論文.....	2
(社)日本雪氷学会北海道支部 2003 年度事業報告.....	82
(社)日本雪氷学会北海道支部 2004 年度事業計画(案).....	84
2003 年度収支決算及び 2004 年度収支予算.....	86
(社)日本雪氷学会北海道支部役員名簿.....	87
日本雪氷学会と道内関係機関のホームページ.....	88
社団法人日本雪氷学会北海道支部規約.....	89

企業広告

表 紙

画 : 斎藤新一郎

題字 : 福沢卓也

巻 頭 言

支部長 竹内政夫

日本雪氷学会北海道支部研究発表会の論文は本誌「北海道の雪氷」に載っていますが、それらの論文のキーワードを眺めると、雪氷を巡る時代の流れが垣間みえます。最近少なくなっていますが北大低温研の先生方による雪・氷の基礎的研究がリードしていた時もありました。降雪気象現象、凍上、海氷、氷河、吹雪、なだれ、着氷雪等の現象とそれらの現象の人間の暮らしや環境との係わりについては年による多い少ないはありますが、これからもテーマになっていくと思います。また、基礎的な研究が少なくなってきたのは残念ですが、10年ほど前から雪氷を教材とした教育現場における研究も見られるようになってきました。このように、雪氷学会で扱われている研究テーマは多様性があり複数の分野の協力を必要とする学際的なものでもあります。昨冬は北見を中心とした大雪や吹雪がありました。早速その報告も発表されていますように、支部の研究発表会には速報的なメリットや、多くの議論をもらいながら完成させるような中間報告的なものも歓迎されています。

低温研の成瀬先生が、「北海道の雪氷」に研究だけでなく提言やトピックスもあったら良いという意見を述べていたことがありました。今年は初めてですが、提言が一遍ありました。毎年発生する雪氷に関する珍しい出来事・現象を気楽に写真などで紹介するトピックス的な発表も来年からは積極的に受け付けたいと考えています。

いずれにせよ支部研究発表会の良さは、完成度は要求されないだけに議論がしやすいところにありますので、会員のみなさんも是非積極的に参加していただきたいと思います。

次に、雪氷学会北海道支部の最近の動きについてお知らせします。来年の全国大会は旭川を予定していますが、同じように雪氷を工学的に扱っている日本雪工学会と協力して同時期に旭川を予定しています。北海道では両方の学会に跨って入っている会員が多いこともあり、一部だけでも一緒にやろうということで、両学会合同の実行委員会が組織されることになっています。

最後になりますが、今年度の地域講演会のテーマや開催地などを含めて、北海道支部にたいする皆さんのご希望や意見をお寄せくださるようお願いいたします。

日時：2004 年 7 月 1 日（木）10:00～16:30

場所：北海道大学 学術交流会館 第一会議室

1. 氷河地質学的観点からみた更新世東南極氷床の流動特性の復元 -----	3
-オーセングレーシャーベッドのテクニクスに関する予察的報告-	
岩崎正吾（北海道大学），三浦英樹（国立極地研究所），前奎英明（広島大学）	
2. 北パタゴニア氷原・エクスプロードレス氷河の特徴と短期流動速度 -----	7
澤柿教伸（北海道大学），青木賢人（金沢大学），安仁屋政武（筑波大学）	
3. 氷河水路の氷壁融解について：氷河での測定と室内実験 -----	11
ISENKO Evgeni（北海道大学）	
4. 変電所屋外鉄構の冠雪に関する検討 -----	14
高寄祐介・秋元照良一・松野直也（北海道電力（株））	
5. 橋梁の落雪防止対策に用いる格子フェンスについて -----	18
千葉隆弘，竹内政夫（（株）雪研スノーイーターズ），古田克宏（帯広開発建設部 浦幌道路維持事業所），岳本秀人，植野英睦（（独）北海道開発土木研究所）	
6. 屋根雪の滑落雪に及ぼす降積雪時の外気温特性 -----	22
伊東敏幸，苫米地司（北海道工業大学）	
7. 北海道旭川市における屋根雪観測—中高層建築物の屋上積雪分布について— -----	24
堤拓哉，高倉政寛（道立北方建築総合研究所），苫米地司（北海道工業大学）	
8. 換気装置の周辺部材で発生する氷柱及び氷筈について -----	28
高倉政寛，村田さやか，鈴木大隆（道立北方建築総合研究所），片岡尚（三菱電機）， 高橋博行（三菱電機ライフファシリティーズ），市岡博喜（メルコエアテック）	
9. 雪氷緊急体制導入への提言 -----	32
石本敬志・佐藤隆光（（財）日本気象協会北海道支社）	
10. 脱スパイクタイヤ政策の歴史的評価と政策評価 -----	36
浅野基樹（（独）北海道開発土木研究所）	
11. 寒乾害および除雪対策を兼ねた道路緑化における越冬手法について -----	40
斎藤新一郎（環境林づくり研究所）	
12. 美幌峠の道路防雪林の雪害とその対策について -----	44
斎藤新一郎（環境林づくり研究所），齊藤道義（網走開発建設部網走道路事務所）	
13. 悪天候下での視線誘導設備の発光要件の検討 第 1 報 -----	48
斎藤孝（松下電工（株））	
14. 北海道・西ヌプカウシヌプリの岩塊斜面における越冬地下水の季節変化とその要因 -----	52
澤田結基（北海道大学）	
15. 熱収支法を用いた立山山岳地域における積雪深変化の推定 -----	56
津滝俊（北海道大学），川田邦夫（富山大学）	
16. 北見・網走における今冬の大雪と融雪出水 -----	60
石井吉之（北海道大学）	
17. スウェーデン・ストール氷河での熱収支観測にもとづく融解量分布 -----	64
紺屋恵子（北海道大学），Regine Hock（ストックホルム大学），成瀬廉二（北海道大学）	
18. 積雪の固有透過度と比表面積 -----	67
荒川逸人（野外科学（株））	
19. 表層雪崩発生予測手法の開発 -----	71
西村浩一，平島寛行，佐藤篤司（（独）防災科学技術研究所），馬場恵美子（北海道大学）	
20. 2004 年 1 月道東地方の大雪 -北見市の積雪- -----	75
榎本浩之，高橋修平，渡邊 誠，齋藤佳彦，山本 徹（北見工業大学）	
21. 北海道における大雪発生の長期傾向について-2004 年冬期の大雪の特徴-----	78
中村一樹，齋藤正美，須藤哲寛，谷口恭，山口浩司（（財）日本気象協会北海道支社防 災気象グループ）	